

平成30年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	文化産業観光部文化振興課	
施設名称	5	東京都台東区立旧東京音楽学校奏楽堂	指定管理者	公益財団法人台東区芸術文化財団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募	<input type="checkbox"/> 継続特例	<input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1 ~ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 奏楽堂は、昭和58年に東京藝術大学より譲り受けた日本最初の木造洋式音楽ホールである。国の重要文化財でもあるため、奏楽堂を保存継承し、生きた文化財として活用することにより、芸術文化の振興を図る。
(2)	[所在地] 台東区上野公園8-43 [規模] 延べ床面積 1,851.39㎡ 木造地上2階地下1階（一部RC）／資料展示室、楽屋控え室、楽屋、練習室、倉庫、パイプオルガン機械室・倉庫、ステージ、ホール、ホワイエ、鑑賞室、応接室、資料整理室、資料保管室、事務室、発電機室など
(3)	[委託事業] 休館中における施設・付帯設備及び物品の保全・調整、施設内の清潔整頓、その他環境整備などの事業。 [自主事業] 日本歌曲コンクール、入賞記念コンサート、木曜コンサート、特別事業「バロックレクチャーコンサート～チェンバロの響きを愉しむ～」、チェンバロ公開講座
(4)	[利用者] 開館中全来館者 [利用料金制] <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 保存修復工事完了後、平成30年11月1日よりリニューアルオープンする。 （以下、再開後について示す 開館日：日・火・水曜日（木・金・土曜日はホール等の使用がない場合）・休館日（月曜日／年末年始／特別整理期間等）・開館時間：午前9時30分～午後4時30分）
(6)	[人員体制] 4名 （内 訳） 派遣職員（1） 再任用職員（2） 専門スタッフ（1） （前年増減） 再任用職員2名増

2. 予算決算		28予算	28決算	29予算	29決算
収入	委託料（指定管理料）	3,967,000	3,489,315	4,126,000	3,786,349
	利用料金収入	0	0	0	0
	その他収入（ ）	0	0	0	0
	計	3,967,000	3,489,315	4,126,000	3,786,349
支出	人件費	0	0	0	0
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費（委託料・賃借料）	3,286,000	3,066,340	3,498,000	3,359,556
	修繕費	0	0	0	0
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（消耗品費・諸謝金など）	681,000	422,975	628,000	426,793
	計	3,967,000	3,489,315	4,126,000	3,786,349
収支			0		0

3. 活動指標	単位	（目標値）31年度	27年度	28年度	29年度
開館日数	日	308	-	-	-
ホール使用日数	日	193	-	-	-

4. 成果指標	単位	（目標値）31年度	27年度	28年度	29年度
入館者数	人	22,000	-	-	-
ホール利用件数	件	187	-	-	-

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

改修に伴い休館中ではあるが、関係団体とのネットワーク維持の必要性を考慮し、継続的に自主事業を実施し、コンサート来場者数も増加した。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書・報告書等の区との必要な手続きを適切に行うとともに、日頃から区との情報共有を図り、適正な管理が行われた。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	歌曲コンクール等の自主事業を実施し、開催情報についてはホームページやチラシの作成を行い分かりやすい情報提供を続けた。また、東京藝術大学等の関係団体とは随時連絡を取るなど、適正な事業運営が行われている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	保存活用工事のため休館中。 ピアノ等の楽器や寄贈資料等の備品についても適切な維持管理に努め、掲示板の作成・取付などリニューアルオープンに向けた準備を適切に行っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	前年に引き続き、他のホールでコンクールやコンサートを実施し、入場者数は前年度実績を上回った。また、アンケートを実施し、苦情やご意見は、定例ミーティング等で職員に周知するなど、その後の運営に反映させ、サービス向上に取り組んでいる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	リニューアルオープンに向けた環境整備のため、経費は増となったが、それ以外についてはほぼ前年同であり、適正な予算の執行がなされている。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 100 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>休館中においても、文化コンサート等自主事業を継続して行い、東京藝術大学等関係団体と良好な関係を築いている。 また、職員による適切な備品管理を行い、リニューアルオープンに向け着実に準備を進めた。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p>